

## バランスシートの目的と作成

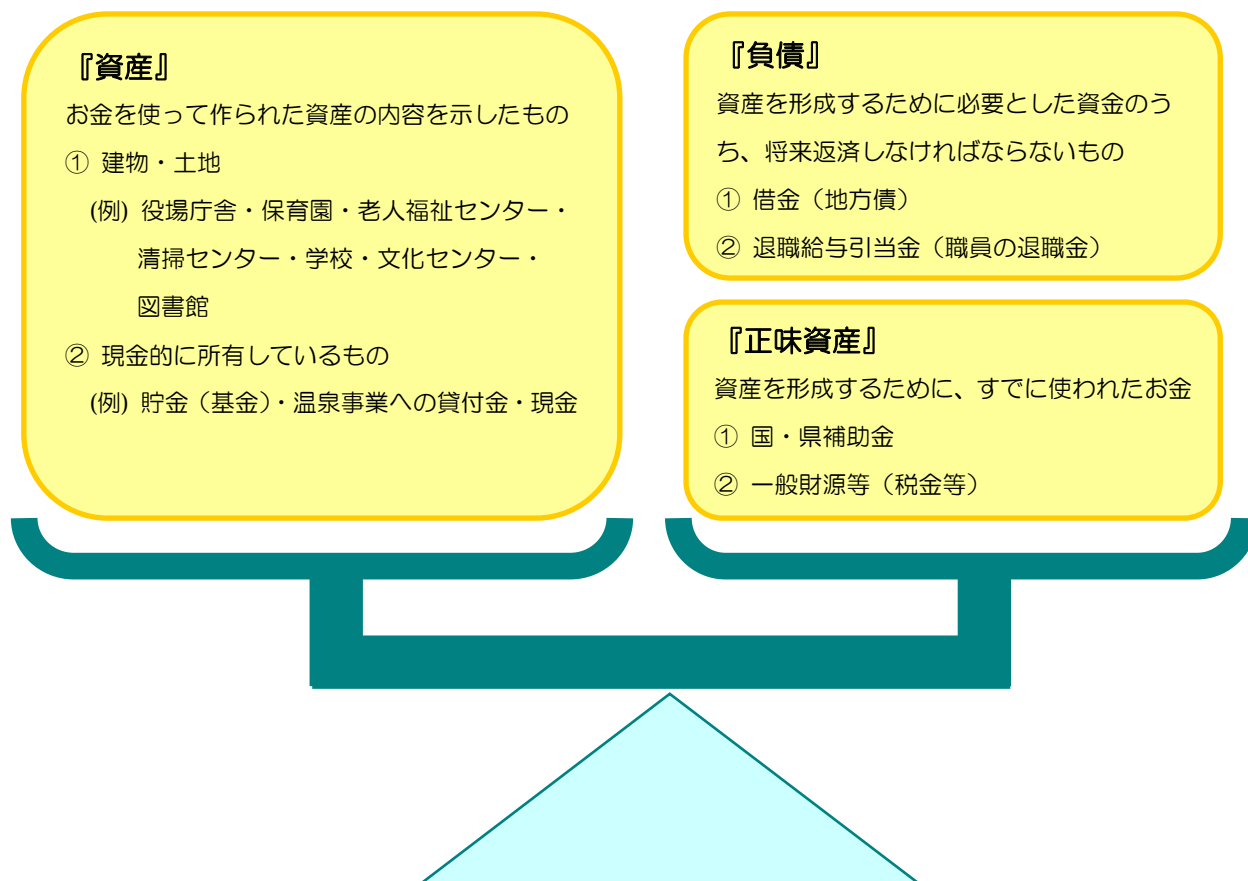
下諏訪町では、毎年収支決算報告の中で歳入と歳出の状況をお知らせしてきました。これらの情報からは、納めていただいた税金や国からの地方交付税等が、どれくらいの金額なのかという町のお財布の大きさがわかりますし、これらのお金を使って、借金返済（公債費）や道路・学校・保育園などの管理運営にどれくらい必要かというお財布の中身の使い方がわかりました。ところが、町で行う事業は1年で終了するものばかりではありません。たとえば、学校を改修する時などは数年間かけて行うため、1年分の財布の大きさだけでは足りませんし、数年間のお財布の使い道を合計してみないと本当に必要な金額も不明なのです。つまり、単年度の決算状況だけでは、町が実施してきた事業の積み重ねの結果として、現在どれくらいの資産を持っているのか、また、その資産を形成するために資金をどのように調達したのかということがわかりません。

そこで、バランスシート（貸借対照表）を作成し、下諏訪町が持っている年度末の資産と負債等のストック（積み上げ）状況を示すことで、単年度の収支決算では困難であった、資産の構成や将来返済しなければならない負債等の状況が明らかになり、そこから新たな財政分析による財政状況の把握をしていきます。

### バランスシート（貸借対照表）

バランスシートは、企業における経営資源の状況と、その資源を調達するための財源の状況を明確にするためのものですが、その手法を町の財政分析に取り入れて、町の資産と負債等のストックの状況やその財源となる資金の調達状況を明らかにしたものです。

#### <バランスシートの構成>



## <バランスシート作成の基本内容>

今回提示した町のバランスシートは、総務省の「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会」で検討された手法により、決算統計のデータ等を用いて作成したものです。

また、昭和44年度以降の決算データに基づき取得した資産などを計上していること、対象の会計は普通会計であることです。

## <バランスシート作成上の条件>

### ◆◆資産の部◆◆

#### (1) 有形固定資産

- ①取得原価主義により評価をしており、土地を除き資産別に設定された耐用年数（10～60年）により減価償却をしています。
- ②昭和43年度以前に取得した資産や無償譲渡された資産等は計上されていません。

### ◆◆負債の部◆◆

#### (1) 固定負債

- ①退職給与引当金は、町が退職手当組合に加入しているため直接の支払債務を負うのは組合ですが、組合等に参加しない団体と整合を図るため引当金として計上することになっています。  
算出については、年度末に普通会計に属する全職員が普通退職したと想定した場合、必要となる支給額を計上しています。